

息の合った演奏でコラボ



7月18日 ゆめあるて大ホール



第654号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (8月1日現在 ※外国人を含む)
 男 3,371人
 女 3,495人
 総人口 6,866人
 世帯数 2,103戸

豊丘村制施行60周年記念

とよおかコンサート サクソフォーンカルテット桜

平成二十七年豊丘村公民館文化事業の第一弾として、「Saxophone Quartet (サクソフォーンカルテット) 桜」のミニコンサートが七月十八日(土)の午前十時から交流学習センターゆめあるての大ホールで開催された。桜は、東京を中心に活躍する女性四重奏団。豊丘村には昨年十月に続いて二度目の来村。今回は、ステージに音響反射板を設置。桜が奏でる柔らかな音色が会場の隅々まで響き渡り、雨の中、足を運んだ多くの聴衆を魅了した。

生演奏を身近で楽しむ機会

本館主事 竹村久永

桜が結成されたのは平成十九年。メンバーは、ソプラノサクソフスの高梨寛子さん(昭音大卒)、テナーサクソフスの田中麻樹子さん(東京芸大卒)、バリトンサクソフスの桑野恵子さん(昭音大卒)、アルトサクソフスの石橋梓さん(東京芸大卒)の四人。グループ名の「桜」には、女性らしさと力強く美しい満開の桜のように人の心を打つカルテットでありたいという願いが込められている。二〇〇九年第五回ルーマニア国際音楽コンクール室内楽部門第二位。特別賞としてルーマニア音楽協会理事會賞を受賞。現在は、全国各地の文化祭や地域イベント等でも活躍中だ。飯伊地方で桜の公演をコーディネートしているのは飯田市のaru企画。同市「アフィニス夏の音楽祭」をきっかけに、身近で生の音楽を楽しんでもらおうと公民館や学校の体育館などを会場に百人程度のふるさと

コンサートを企画。今年は七月十七日(金)〜二十日(月)まで、豊丘村など九会場で桜の公演を手掛けた。

雨の中、多くの聴衆が桜の演奏を楽しみ、実行委員 武田恵美子

二十七年度文化事業の一つとして、東京を中心に活躍しているサクソフォーンカルテット桜のコンサートが、音響設備が一層高くなったため、椅子等準備しながら入場人数を気にしていませんでしたが、大勢の方達に参加して頂けて良かったと思います。オリジナル曲、サクソフォーン



演奏を終え笑顔の4人

アカシアで マレットゴルフ大会開催

郡体協マレットゴルフ部長 林 皎

第四十三回下伊那郡体協主催のマレット大会が七月二十五日アカシアマレット場にて開催されました。今年には六年に一回の持ちまわり当番が豊丘村に回ってきた。その主催事務局は豊丘村公民館が担いました。実質的にはアカシアクラブ員が諸準備を行なう事になり、総力をあげて早くから広い

二十七ホールの整備などに当り管理することは大変でしたが、郡下の仲間達からの期待がありますので歓迎の気持ちをご頑張ってくださいました。

当日は梅雨も明け、朝からマレット日和の真夏日で、今回は郡下十三町村の内六町村から百二名(男七十六名・女二十六名)の参加でした。因みに町村別に見ますと松川町二十六名・高森町二十八名・喬木村二十二

名・豊丘村十四名・大鹿村十名・泰阜村二名でして、参加者人数をみますと豊丘村は少ないですが恵まれたマレット場環境からして、喬木村や高森町と同等位の参加者数があってもよさそうに思います。

主催者を代表して南信教育事務所野竹様、地元を代表しての歓迎挨拶を小平村長様から頂き九時からプレー開始。時間と共に気温が急上昇し熱中症が心配さ



一打一打に気合が入る

れましたが、日頃から炎天下の練習で鍛えておられるご高齢者たちは皆元気、アカシアグラウンドは狭いからOBが出易い、狭い小山のホールが難所だ、アカシア立ち木が邪魔している。等に慎重に構え真剣なプレー展開、またコース攻略に難儀しつつも互いに親睦を深め、楽しみながら十一時に無事終了。

結果我が豊丘からの参加者は地元主催という事で男女とも健闘しましたが今一步及ばず、今回はいずれも上位三位以内に入れなかったのは極めて残念でした。

(目下部富次)

段丘

最近「徴」という文字が苦になりだした。この徴を使つた単語には、徴収・徴用・徴役・徴兵・徴発などなど。強制的にとり立てたり、集めたりする危険な行為の意味が隠れている。その多くは日常使われている違和感さえなくなっている言葉である。しかし、私達が戦時中、国家権力によって、強制的に使役させられ多数の尊い命を失つた事実を消し去ることは出来ない。その代表となる徴用は学生を軍需産業や、従軍看護婦などに徴用し多くの犠牲者を出し更に、二十歳以上の男子に徴兵制を敷いたことは周知のとおりである。更に、徴の字に「心」をつけ加えると「懲」となる。「こらしめる」「こらす」の意味になる。徴役・徴戒・懲罰などの単語が出て来る。

私たちが何気なしに使っている言葉の裏には恐ろしい意味が含まれている場合が多い。このたび平和憲法を骨抜きにし「戦争の出来る国」になると人を殺したり殺されたりすることを恐れて自衛隊員が不足すると徴兵制が敷かれ、従わなければ懲罰として強制的に兵役につかされることは、十分考えられることである。

「徴」の中にもこのように恐ろしい意味が隠されていることを考えて行動しないと取り返しのつかないことになり悔いを後世に残すことになりそう。



ユーモアを交えて語る林住職

心豊かな人生を

第3回学習会で浄光寺住職が講演

- ①ハイと云う素直な心
 - ②すみませんと云う反省の心
 - ③私がいまですと云う奉仕の心
 - ④おかげさまでと云う謙虚な心
 - ⑤ありがとうと云う感謝の心
- 人生を豊かにするのは、自分自身の心であることを知る機会になりました。
- （公民館 唐澤克己）

七月十六日に第三回公民館学習会が行なわれ、小布施町浄光寺の林映住職様に、「心豊かに」と題して講演をしていただきました。

住職様は、人生を心豊かに送るためにはぜひとも必要な心があるとされ、「日常の五心」として次の五つを上げられました。

七月十六日に第三回公民館学習会が行なわれ、小布施町浄光寺の林映住職様に、「心豊かに」と題して講演をしていただきました。

住職様は、人生を心豊かに送るためにはぜひとも必要な心があるとされ、「日常の五心」として次の五つを上げられました。

七月十六日に第三回公民館学習会が行なわれ、小布施町浄光寺の林映住職様に、「心豊かに」と題して講演をしていただきました。

住職様は、人生を心豊かに送るためにはぜひとも必要な心があるとされ、「日常の五心」として次の五つを上げられました。



銀メダルを披露する山本さん

夢をもちつづけた人生

アーチエリート山本さんを招く

アテネ五輪のアーチエリート山本氏がアーチエリートと出会ったのは横浜市立保土ヶ谷中学校。それまでは、父親の影響で野球漬けの毎

日だったという。始めた当初は部員の中でいちばん下手だったそうだが、図書館から借りた専門書をもとに、弓などの道具はすべてアルバイトで揃えたという。

ソウル五輪後、高校の体育教諭として教鞭をとりながら、バルセロナとアトランタ五輪の二大会に出場。しかし、二〇〇〇年のシドニーオリンピック国内選考会で落選し、大きな挫折を味わう。それまで家庭を全く顧みず、子供の運動会にも参加しなかったが、妻や教子らに支えられ、四十一歳で迎えた二〇〇四年のアテネ五輪で見事復活を果たした。

山本氏は今日までの半生を振り返り、「私は三日坊主が大好きだ。三日坊主を一年間続けるというんなことに百二十一回も挑戦できる。

を残された。この間、アーチエリートに反対だった父親からは学費以外の支援はななく、弓などの道具はすべてアルバイトで揃えたという。

ソウル五輪後、高校の体育教諭として教鞭をとりながら、バルセロナとアトランタ五輪の二大会に出場。しかし、二〇〇〇年のシドニーオリンピック国内選考会で落選し、大きな挫折を味わう。それまで家庭を全く顧みず、子供の運動会にも参加しなかったが、妻や教子らに支えられ、四十一歳で迎えた二〇〇四年のアテネ五輪で見事復活を果たした。

山本氏は今日までの半生を振り返り、「私は三日坊主が大好きだ。三日坊主を一年間続けるというんなことに百二十一回も挑戦できる。

自分が引退するのはそんな工夫が尽きたときであり、五十二歳の今もあきらめずに東京五輪金メダルを狙っている。」と述べた。

夢をあきらめない人生。今年三月、山本氏は四十七歳で入学した弘前大学大学院医学研究科を卒業し、医学博士の学位を取得されている。（本館主事 竹村久永）

生家は農業で養蚕業を主体とし、冬場は炭焼きなどで家計を支えていた。父親は大変な働き者であり、冬場はほとんど顔を見ることがなかった。母親からは、

今年も一日二回の単独公演を開催します!!

●とき 九月二十七日(日)

①十四時 開演

②十九時 開演

●とろ 交流学習センター

●ゆめあるて 大ホール

●演出 一大事でござる!

●出演 人形劇団ばんび

無事復員したものの敗戦後の日本は大不況であり、農家の後継者として土と共



毎年来村している「ばんび」

無事復員したものの敗戦後の日本は大不況であり、農家の後継者として土と共

新しい学校給食共同調理場が、南小学校体育館東側に完成し、竣工式を七月二十七日に行い、学校への配食を八月十九日から開始しました。

工期内に完成できたのも、設計監理・施工業者の皆さんのご尽力、また地元の皆様のご理解の賜物と感謝申し上げます。

旧学校給食共同調理場

新学校給食センター竣工

厨房はオール電化ドライシステム方式

昭和三十五年度中に完成。五十六年四月から配食を開始し、足掛け三十五年間稼働してまいりました。

施設の老朽化とともに、学校給食法改正により新しい学校給食衛生管理基準に不適合となったため、保健所や県教育委員会からも施設整備の指導が行われていました。しかし、施設改築に見合った国・県の補助金に十分なものがなく、建設予定地のみを決定して数年が経過してまいりました。

平成二十四年度に国から豊丘村に対し多額の「地域

昭和三十五年度中に完成。五十六年四月から配食を開始し、足掛け三十五年間稼働してまいりました。

施設の老朽化とともに、学校給食法改正により新しい学校給食衛生管理基準に不適合となったため、保健所や県教育委員会からも施設整備の指導が行われていました。しかし、施設改築に見合った国・県の補助金に十分なものがなく、建設予定地のみを決定して数年が経過してまいりました。

平成二十四年度に国から豊丘村に対し多額の「地域

の元気臨時交付金」が交付され、その交付金を有効に活用すべく平成二十六年当初から改築工事の準備に着手し、一年四ヶ月をかけて完成となりました。

完成した建物は、鉄骨造平屋建て、建築面積は旧調理場の約二・五倍となる八五二㎡、学校給食衛生管理基準で規定された室温・湿度の調理環境を保つため、近隣の喬木村や松川町の調理場で採用した、オール電化ドライシステム厨房方式を採用しています。

施設の調理能力は、七〇

の元気臨時交付金」が交付され、その交付金を有効に活用すべく平成二十六年当初から改築工事の準備に着手し、一年四ヶ月をかけて完成となりました。

完成した建物は、鉄骨造平屋建て、建築面積は旧調理場の約二・五倍となる八五二㎡、学校給食衛生管理基準で規定された室温・湿度の調理環境を保つため、近隣の喬木村や松川町の調理場で採用した、オール電化ドライシステム厨房方式を採用しています。

施設の調理能力は、七〇

【設計監理】株式会社 鈴木建築設計事務所

【施工】神稲建設株式会社

【事業費】四億一六九〇万円

○食。特徴としては、食材の荷受け室下処理室調理室・洗浄室など作業エリアを区分して、汚染を抑制します。子どもたちに、より暖かい米飯を提供できるよう、これまでの委託炊飯から新施設で炊飯するようにしました。また、今回新たにアレルギー調理室を設け、安全・安心なアレルギー除去食対応への環境を整え、平成二十八年度から実施する予定です。

今後、地元の食材を活用した地域産品を推進するとともに、地域の食文化に根ざしたメニューの提供など、更なる食育の推進に努めてまいります。

.....



新しい調理場で栄養士から説明を受ける出席者

茶褐色に日焼けし、見るからに健康と一目でわかる春人さんをお尋ねした。

まず名前の由来をお話し下さった。十一月生まれなのに何故「春人」なのかと母親に尋ねた由。兄が未熟児で生まれたのが原因で、生後四ヶ月で亡くなってしまった。次に生まれた子が三月に身ごもった為、兄の分まで丈夫で育つようにとの思いを込めて春人と名付けたとのこと。親の熱い願いが通じて今日まで、大病をすること無く過ごしている。

シリーズ「元氣な高齢者」⑫

土と共に生きる

壬生 春人さん 八十九歳

壬生沢北在住

生家は農業で養蚕業を主体とし、冬場は炭焼きなどで家計を支えていた。父親は大変な働き者であり、冬場はほとんど顔を見ることがなかった。母親からは、

無事復員したものの敗戦後の日本は大不況であり、農家の後継者として土と共

でも恩返しできたかなと感慨深げであった。また兄弟六人が全員元気で過しているのも大きな支えとなっており、改めて健康に感謝である。更に現在でも新しい企画を構想中とのこと、そのパワーに圧倒された一日でした。

文責 桐崎 長一

日下部富次



日を迎えた。

第一分館親子自然学習会・溪流編

マス150匹をつかみ取り

親子で炭火焼堪能

第一分館長
越野清司

小学校が夏休みに入った最初の日曜日、第一分館では恒例になっている「親子自然学習会・溪流編」マスをつかみ取り大会を開催しました。

このイベントは、現在使用している会場に移って二十数年程が経過しましたが、おかげ様で近年、参加者が増え、一層の賑わいをみせております。

普段の生活の中では、なかなか体験出来ない魚のつかみ取りや、自分で取った魚をその場でさばき、塩をふって炭火で焼く。そんな一連の調理作業を家族で、兄弟で、友達同志と一緒に体験出来る



ずぶ濡れになりながらマスをゲット

事が大きな魅力になっていると理解しています。

今年の夏は異常に暑く、この日も朝から三十℃超えの猛暑。そんな中でも溪流の水は冷たく、放流した百五十匹のマスは優雅に泳ぎ、突然の集中した夕立やら

集まってくれた五十名程の子供たちは、頭からずぶ濡れになりながら、でも夢中になって逃げるマスを追いかけて、岩場に追い込みゲツトしていました。保護者や役員と一緒にマスの下処理をし、炭火でゆつくりと焼き上がったいく工程を子供達にも体験をして頂ければと思います。

分館納涼祭

特集第1弾

第2分館
分館長 曾田勝

梅雨も明けた七月二十五日、田村夏祭りが盛大に開催されました。このお祭りは、田村区・田村商栄会・商工会中央支部・公民館第二分館の協賛で開催しております。

会場の舞台では、豊丘太鼓、フラダンス、豊丘ウィンド・アンサンブルなど各種団体の皆様に演奏と踊りにより一層盛り上げて頂きました。一方、出店では生ビールや焼き鳥、いか焼き、



舞台上でフラダンスを踊るご婦人たち

第3分館
分館長 原和夫

七月二十五日(土)、林公園駐車場で納涼祭が行われ

も想定しなくてはいけない程に、近年は異常気象にも悩まされますが、第一分館としては今後もまだまだ継続し、公民館でなければ出来ない、安全で楽しいイベントとして、これからの子供達にも体験をして頂ければと思います。

金魚すくい、かき水など、大人も子供も多くの方にご利用いただき、品切れになるお店がでるほど盛況でした。また、今年は初めての試みとして、会場の皆さんが参加できるじゃんけん大会を行い、豪華景品を掛けて多くの方に出場いただきました。皆様のご協力のおかげで、非常に楽しいお祭りになることができました。

最後にりましたが、今年も開催出来ましたこと、地域の皆様方のご理解と地域の企業の皆様のご協力あつての事と感謝しております。ありがとうございました。

焼き物や飲み物コーナーには長い列ができ、役員だけでは対応しきれず数名の皆さんに手助けをしていただきました。子ども達は金魚すくい、綿菓子、かき水の所に集まり、金魚すくいなどは、おじいちゃんやおばあちゃんなども夢中になり子供と同じ様に歓声をあげていました。周りを見ると車座が沢山でき、おじいちゃん、おばあちゃん、両

親三世代の笑顔が見られた納涼祭でした。参加人数も二八〇名以上と多くの皆さんが、それぞれ楽しんで下さいます。また、色々工夫をこらして進めていきたいと思っておりますので、御協力をよろしくお願いします。

今年で二十七回目となる伴野区夏の夜祭りが、七月二十五日なつこ公園で行われました。伴野区・商工会南支部・工業団地支部・公民館の共催で、前日の準備、当日の準備とご協力頂き開催する事が出来ました。当日は、昨年と比べれば涼しかったのではないかと思います。雨も心配されましたが無事予定通り開催、多くの区民の皆様にご参加いただきました。ステージでは吹奏楽演奏、舞踏・太鼓演奏・おはやし・

よさこい・カラオケ・伴野小唄などが披露されました。小園おはやし、よさこいは今年初参加、大変たのしませて頂きました。今後も伴野区夏の夜祭りが区民の皆様との交流の場として開催される様お願い致します。

お囃子を演奏する小園の皆さん

こちら資料館 155

小田村伊之助の書

先日、多勢子コーナーの防虫剤入れ替えをしていて、NHK大河「花燃ゆ」に出て

くる小田村伊之助の書を発見して驚いた。大沢たかおが演じている、あの伊之助の本物である。

写真は多勢子晩年の肖像画であるが、賛が二つある。左は長州出身で明治政府の要職を務めた品川弥二郎のものである。右の漢文の賛には耕堂と署名がある。耕堂とは伊之助の号である。

書かれたのは、文久三年

(一八六三)。平田門人が起こした事件で多勢子が長州屋敷にかくまわれる直前のことと思われる。

漢文の内容は、尊皇の志厚く国事に奔走しながら尚かつ女性としての務めも立派に果たしている多勢子を讃えたものである。

ところで、多勢子と伊之助はどのような知り合いであったのだろうか？多勢子は上京中の日記「都のつ

と」に平田門人で長州藩士の瀬良利貞の紹介で小田村文助(伊之助)と会い、尊皇について心ゆくまで語り合ったと記している。その後二人は再び会う機会があったかどうかは不明だが、たつた一回の



伊之助直筆の書

是非一度ご覧下さい。(資料館主任 唐澤武彦)

平成二十四年七月十一日に開所したサロン林里が、今年で三周年を迎えました。村では、二十四年度に介護予防ステップアップ元年と位置づけ、ミニデイサービスを実施する地区を募集していましたが、三年過ぎた今では、各地区にミニデイが出来ました。

私たちのサロンは、行政が間に入るのではなく、ボランティアのスタッフが気軽に運営しています。林里の南小近くの空き屋

になつていた家を、家主さんに使用目的を御理解いただき、お借りしています。スタッフの皆さんと家のまわりの草とり、垣根の手入れ、又、畑には河野のTさんから数十株のラベンダーを寄附していただきました。今年には特に見事な花が咲き、ステイックをつくり、とよおかまつりには、ポプリを出品しようと計画しています。湿地の畑には、九輪草の苗をもらい、花が咲いています。毎週、水曜日の午前中二時間で、年間に四十七回くらいになります。

お花見、もみじ狩り、プラネタリウム見学などと、出掛けたり、七夕、クリスマス会や誕生会をしたり、時には、歌、おどり、マジックなどのボランティアの方々にも来ていただいています。全くの素人ボランティアスタッフばかりですが、無理をしないで、お互いを思

福笑いを楽しまれる利用者

投稿

サロン林里 開所3周年 によせて

林里一
森田節子

いや、数時間を楽しく過ごせればと思います。利用者の方々からは、私たちの知らない料理、地域の風習、又、遊びなどを教えてもらい、一緒に作って見たり、食べたりもして見ました。毎回、何をしなければならぬというのではなく、その時々にあつた事をして、うたい、笑い、食べてひとときを過ごします。三年が過ぎ、多数の方々の御協力に感謝し、又、村からの支援をいたたく中で、今後も楽しく交流が出来ればと願っています。

お正月 ふくわらい

2015年1月28日(水)

~シリーズ~ 豊丘の自然

No.142

アオハダトンボ (カワトンボ科)



身近なところに「戦後七十年」があった。伊藤文男先生がトンボ研究を始めたのが昭和二十年。しかし、下伊那のトンボ史となると、さらに二十年さかのぼる。大正十四年、下伊那教育会の自然調査部の先生方は、名和梅吉先生を迎えて調査を行なっている。この時の確認は三十六種。

そこで、九十年、七十年にふさわしい事を考えてみた。伊藤先生は十六年かけ

たところで「下伊那の蜻蛉（昭和三十六年）を発表。確認種類は六十三、調査ポイント数は五百四十六。この数字を一年間の調査でクリアすること。もちろん不可能ではない。少なくとも、動・植物の生息確認は年単位で行なう。これが私のモットーだから。」

お詫び (山田 拓) 前号シリーズナンバーに誤りがございました。

楽しかったね! げんきっこ夏まつり

子育て支援係 下井田 秀子

今年の一月末に子育て支援センター「げんきっこ」がオープンして半年が経ちますが、遊びに来てくれる親子の交流の場として、または、年齢別の広場や特別企画の遊び等で、毎日楽しく利用してくれています。

そんな折、げんきっこという名前がふさわしい就学前の子どもたち（保育園児と未就園児）が一同に会しての「げんきっこ夏まつり」が七月十日に子育て支援センターの広場で行なわれしました。夏まつりを一緒にすることで、豊丘村のお友だちに親しみの気持ちを持ったり、楽しい思いが共有できることを願って計画しました。

前日までは雨が降り続き心配された天候も、皆の

パワで良い天気となり、一、〇〇〇人程の家族連れで大盛況でした。豊丘太鼓の勇壮な響きから始まり、未就園児や保育園児のかわいらしいリズムが華を添えました。次は、お楽しみ夜の店屋さんごっこです。げんきっこの広場にたくさんのお店屋さん（ポップコーン・かき氷・フランクフルト・綿菓子・駄菓子屋・おもちゃ屋）が並び、券と引き換えに品物ももらい、とても満足そうな様子でした。さて、クライマックスは花火です。くるくる回る風車や笹竹に煌めく花火、そして滝のように流れ落ちるナイヤガラなど、ひとつひとつの花火に歓声が上がっていました。

豊丘村の就学前の子どもたちが、大勢集まって行なう夏まつりは初めての試みであり準備等は大変でしたが、保育園の役員の方々が、保育園の皆さんのをはじめ、子育て中のママさんスタッフの皆さんにも



村民プラザで元気にダンスを披露

協力していただき、無事できたことを心より感謝しております。お祭りに来ていた子どもたちやお家の方々の楽しそうな姿、とびつきの笑顔を見ながら、私たちも幸せなひとときを送ることができました。素敵な夏の思い出になったことでしょう。

読書の楽しみ 読書が大好き

南小学校五年 内山裕史郎



ぼくは、小さいころから本をよく読んでいます。小さいころは、絵本を読んでもらっていました。絵本がねる前のお楽しみでした。

最近では、ファンタジー小説が好きです。読んでいると、自分がその世界に入りこめます。いつも「本にこういう世界があったらいいなあ」と思います。

今まで読んだ中で一番おもしろかった本は『ダレン・シヤン』です。この話は、主人公のダレンシヤンがバンパイアになって、バンパニーズと戦う話です。この本は、全部で十三三つあって、最後まで全部読みました。ハラハラしたりドキドキしたりして、読み始めると止まらなくなりました。みなさんにも読んでもらいたいです。

また、本は勉強にもなります。本を読んで、むずかしい漢字が読めるようになったり、いろいろな場面を空想することで、考える力がついてきたと、自分でも思います。ふだん、何気なく読んでいる本から、ぼくは、大切な力ももらえています。本は、ぼくにとても大切なものです。

村には、いい図書館があるので、これからもたくさん借りて、いろいろな本を読みたいです。

俳句 短歌

バス停は田圃といふや麦の秋
竹落葉庭に狼藉尽したり
奥津城に流るる祝詞蟬の声
惜しき人忽と召さるる梅雨深し
田植過ぎ我が身をつつむ風清か
山紫陽花紅の盛り惚ぶ友
松蟬の声一峽をしめにけり
この国のあり様問はる梅雨の果
空へ空へ声ひるがりて夏雲雀
万緑に解け合ひ子等の音楽会
夏の宵指輪似合はぬ節を見る
万葉の恋も植田の風の中

磯部セツ子 田中 静 片桐 洋子 下平 玲子 三島 保子 三島 里子 木下 眞水 宮下 公 宮下 純子 丸山 時子 林 恵美子 北原 昭子

松下 泰見 福澤貴美恵 草なかに 大原眞由美 筒井 恵子 松尾ヒサコ 富永 博道

薄赤き初採りトマト想い出す幼き亡友と食べし香りを
二十余で謀反の罪に処せられた大津皇子の歌碑
いく世継ぎ太き根はりし榎なり今季かぎりの命となれり

下平咲絵子 泰三 小園 坂巻 佑哉 大 柏 矢澤小百合 飯田市 遠山 憲介 北 村 小野寺 梢 小 園

7月1日から	7月31日まで(届出分)
出生	出生
子氏名 届出人 自治会	子氏名 届出人 自治会
大原 渉 真一 中芝	大原 渉 真一 中芝
熊谷 優 恵 南市場	熊谷 優 恵 南市場
毛涯 才耀 智成 市ノ沢	毛涯 才耀 智成 市ノ沢
小椋帆乃佳 一弘 林 原	小椋帆乃佳 一弘 林 原
村澤 文哉 昌 南市場	村澤 文哉 昌 南市場
遠藤 羽絆 史人 北市場三	遠藤 羽絆 史人 北市場三
死亡	死亡
坂巻 佑哉 大 柏	坂巻 佑哉 大 柏
矢澤小百合 飯田市	矢澤小百合 飯田市
遠山 憲介 北 村	遠山 憲介 北 村
小野寺 梢 小 園	小野寺 梢 小 園
死亡者 年齢 届出人 自治会	死亡者 年齢 届出人 自治会
武田 久 恵子 上垣外	武田 久 恵子 上垣外
富内三津美 千尋 北市場二	富内三津美 千尋 北市場二
木下 忠人 武子 山 田	木下 忠人 武子 山 田
壬生 福恵 90 元祝 壬生北	壬生 福恵 90 元祝 壬生北

柳 (豊丘川柳クラブ豊柳会)

▼課題「清」 福沢勝美 選

清貧にたえて居るのに物価高 宮島 昭三
清流を追われ九条濁流へ 原 美風
清貧に生きて気迫に持つ誇り 安田 喜子
清濁も正邪も呑んで太く生き 桃沢 健介

軸吟：清貧に生きて米寿の今日があり

▼課題「飛」 互選

バーゲンののがき届けば飛んでゆく小澤 凜
流言飛語五分だけ信じ生きてきた 林 桃子
義侠心火中飛び込み栗拾う 福沢 勝美
耳寄りな話あちこち飛び火する 西元 峯子

▼自由吟 桃沢健介 選

茄子を穫る鉄の音が清すがし 市沢 照子
豊丘がふるさと納税四億円 宇井恵美子
逝く友に別れを告げて一呼吸 久保ひろし
国債務ギリシヤ笑えぬ千兆円 吉川 療
軸吟：戦犯の血は破局へとまっしぐら

八日念

早朝より爽やかな鶯に起こされて今日の涼しきひと日が始まる 松島 八重
高温の続けば稲田は黒きほど緑深まり穂を孕み初む 河原 梨花
孫達へ戦借金残しつつ平和と平和あるはずのなし 岳 道
忽然とむなしく逝きたる何故何故に「誠実一路」を貫きき人 紅 梅
夏祭平和であればなおのこと飲む人見る人踊る人 吉澤 新子

あしたば短歌会

嫁ぎ来て慣れぬ農事に励み来し節くれ立ちたる我が指摩る 久保田 妙
刈られては重ねられゆく夏草に兵どもの夢呼びおこす 毛涯小百合
「はつらつ」でフラワーアレンジ習い来て花を差し替え日毎楽しむ 壬生 千春
遅れしか一人の児童足早やにピンクの傘を揺らし行く見ゆ 大倉 知江
幼日に友と遊んだ山路は今父母の墓参りするのみ 北澤 秀子
覚束な八十路の友の足取りを互に労はる湖東三山 福澤 亀人